

議会だより ふだい



岩手県普代村議会

No. 139

平成29年4月27日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



桜の下でパチリ！

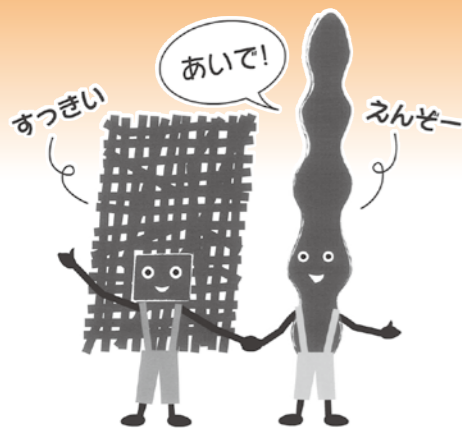
(4月20日、茂市川沿いの桜並木で)

29年度予算・37億円を可決ー3月定例会 2頁

社会体育館など指定管理に！ー補正予算・条例改正など 10頁

閉校した校舎活用策は・村の観光資源化 村民一丸でなど 一般質問に3人 14頁

議会の動き 19頁 静岡県河津町に学ぶー行政視察の報告 20頁



どう進める

魅力ある村づくり!!

可決

29年度予算は37億円

村議会第1回定例会（3月定例会）が3月7日から10日までの4日間開かれ、平成29年度の補正予算や条例改正など21議案が審議され、全員賛成で可決しました。平成29年度予算は、震災復興の総仕上げや人口減少対策、観光振興、基盤整備などの

事業が特徴で、一般会計と6つの特別会計を合わせた総額は37億4290万円。これらを慎重に審議し可決しました。今号の議会だよりでは、29年度の予算構成、質疑応答などから、補正予算、条例改正の内容・質疑、一般質問などの内容でお知らせします。

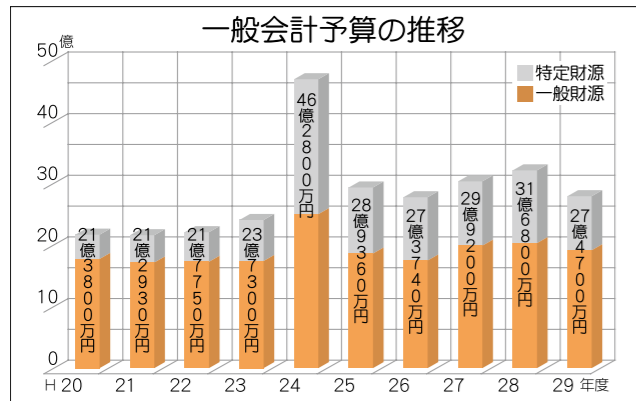
予算の審査は特別委員会で

平成29年度予算の一般会計と特別会計を合わせた総額は37億4290万円となり、前年度と比べ、8.8%の減額となりました。その内の一般会計予算は27億4700万円で13.3%の減、6つの特別会計の総額は9億9590万円で6.1%の微増となりました。

平成29年度の予算は、議員全員（9人）で構成する予算特別委員会（野場義時委員長）を設置し、慎重に審査。その結果、全会計とも全員賛成で、原案のとおり可決されました。

一般会計予算 13.3%の減

平成29年度予算の一般会計予算をみますと、前年度と比べ4億2100万円の減額になります。



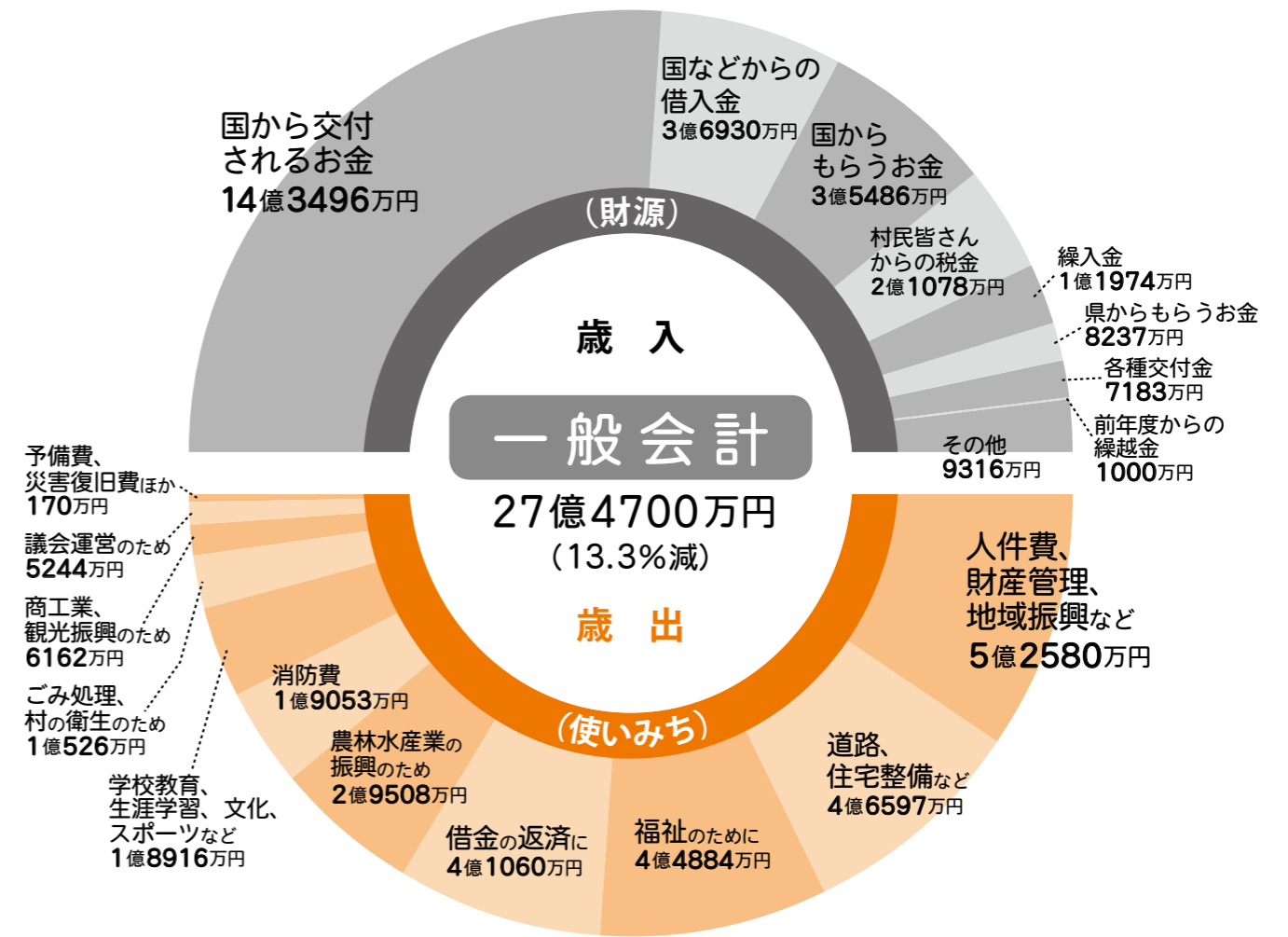
※特別財源は使う用途が決められたお金で、一般会計は村が自由に使えるお金です

例会の施政方針演述で、「平成29年度は台風災害からの早期の復旧完了を期しながら、地方版総合戦略の『まち』が元気で『ひと』が輝き『しごと』と『くらし』が調和する村づくりや、観光・交流・物産の活力や魅力が高まる『青の国ふだい』づくりに渾身の力を傾注し推進していきます」と述べました。

災害復旧進め 青の国づくり

征屋伸夫村長は、3月定例会の施政方針演述で、「平成29年度は台風災害からの早期の復旧完了を期しながら、地方版総合戦略の『まち』が元気で『ひと』が輝き『しごと』と『くらし』が調和する村づくりや、観光・交流・物産の活力や魅力が高まる『青の国ふだい』づくりに渾身の力を傾注し推進していきます」と述べました。

その要因は、東日本大震災の復旧・復興工事が概ね完了したことから、普通建設事業費関連予算の減少（前年度対比37.9%）が主なものです。29年度の主な事業は、橋梁長寿命化事業1億3000万円、道路施設防災事業（村道大沢線）1億円、地域活動拠点集会所施設整備事業（太田名部公民館）8978万円、南浜住宅建替工事8150万円、高規格救急自動車購入事業4005



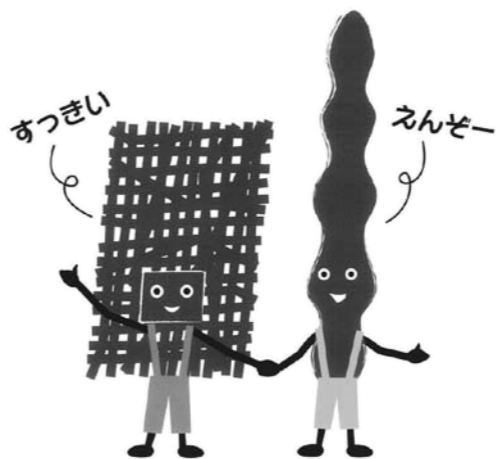
特別会計の予算 9億9590万円 (前年度比6.1%増)

国民健康保険	国民健康保険診療施設	簡易水道	休養施設事業	漁業集落排水事業	後期高齢者医療事業
4億6900万円 前年度比 2.5%減	2億2060万円 前年度比 2.4%増	1億3700万円 前年度比 93.5%増	1億1680万円 前年度比 2.5%減	2390万円 前年度比 1.7%増	2860万円 前年度比 3.2%増



現在6人が入所、18人が利用しているくろさき小規模多機能ホーム

予算特別委員会では、地域づくりや後継者対策、農業振興など、いろいろな分野で質疑が行われました。



総務費

集落支援員事業
人選など内容を

(地域づくり)

中上委員
問 まち・ひと・しごと創生費に集落支援員活動事業というのがあるが、これはどういう人がやるのか。すでに決まっているのか何う。
答 29年度において、国の支援事業を活用し、1名の集落支援員を委嘱したいと思っており、人選について

は募集を行うものである。

普代浜の産直施設
どの程度の品数か

(観光振興)

金子委員
問 普代浜南側の産直施設では、どの程度の品数などをそろえておくのか何う。
道下政策推進室長
答 産直施設の品数については、現在アンテナショップで取り扱っているものについて、新たな産直の方での販売品目として取り扱いたい。品目は、スペースなどの

関係もあるのでは、定期的なものと考えながら品数、数量などをそろえたい。

地域人材ネット事業
アワビ関係の金額は

(地域づくり)

大上委員
問 地域人材ネット外部招へい事業の内容で、540万円の中でのアワビ関係の金額はいくらか。
道下政策推進室長
答 540万円の内訳は、ウニ、アワビの29年度の活動については50万円計上しており、そのほか直接人材

民生費

くろさき小規模多機能
入所者を増やす計画は

(老人福祉)

金子委員
問 くろさき小規模多機能ホームについて、今後入所者が多く入れるような施設

農林水産業費

ニューファーマー事業
成果は出ているのか

(後継者対策)

中上委員
問 いわてニューファーマー支援事業の1名が29年度任期で終了した。採算が合う状態で終了したのか。また新規作物支援事業の成果はどうか。
答 補助金を消化するためだけでなく、農業人口を増やしていけるような土壌としてでき上がっているのか。
佐々木農林商工課長
問 いわてニューファーマー支援事業は、事業の範囲内ではそれなりの成果を出している。
新規作物支援事業では、植え付け時期が若干遅れてしまった。今年度は早めにより、大事な時期に合うようにしたい。
土壌としては、まだその事業だけで生活をしていく

猟友会のメンバーの
人数を確保する策は

(有害鳥獣対策)

には困難な状況である。

熊谷委員
問 有害鳥獣対策の猟友会のメンバーが減少している。人数を確保するために、今いるメンバーを大事にし、新たに入ってくる人を育てるような考えはないか。
佐々木農林商工課長
答 狩猟免許を持った方が減っている現状であり、射撃訓練の補助などをしていく。

ニューファーマー
対象となる年齢は

(農業振興)

といったことも検討していきたい。

正路委員
問 いわてニューファーマー支援事業はどのくらいの年齢が対象になるのか。有害対象鳥獣は何種類あるか。
佐々木農林商工課長
答 ニューファーマー支援事業の対象は45歳までである。有害駆除の対象は熊、鹿、カラス、野鳩が主なものである。



寒じめほうれんそうの収穫



29年度予算を審議

平成29年度予算の審議は、議員9人全員で構成する予算特別委員会（野場義時委員長）を立ち上げ、村から提案された総額37億4290万円の事務事業を、3日間にわたり審議しました。村の1年を左右する貴重な予算に関する主な質疑は次のとおりです。（4〜7ページまで）



中居昭彦さん
(50 = 鳥居・農業)

技術身に付け交流したい

おやじが他界し、家業のシイタケ農家を継いで1年半が過ぎました。これまで仕事で農家さんを見てきましたが、見るとやるとでは大違いでした。ほだ木に水をやるのもちょうどよい加減が分からなかったり、ほだ木の並べ方も寝かせた方がいいのか、斜めに立てた方がいいのか、日々、試行錯誤しています。

農業は、収入が得られるまで1年かかります。はじめるときは農機具の購入など初期投資や、生活費のことも考えなければなりません。台風10号のときのように、天災で全てがダメになることもあります。現在、若い新規就農者に対する支援はありますが、年齢制限があります。いろいろな面から、若い人でなくても対象になるようにすれば、もっと農業をやる人が増えるかも知れません。

農業は意外と孤独になることがあります。今後も情報交換しながら、早く技術を身に付けいろんな人と交流したいと思います。



山火智美さん
(32 = 旭日区・地域おこし協力隊)

普代の魅力は人！

地域おこし協力隊として、4カ月前に普代に来ました。今は株式会社「青の国ふだい」で、切符販売、商品販売、ふるさと納税の事務などを行っています。

普代の売りは「人」だと思います。最近では、現地の人とふれあうために旅行をしている人が増えています。旅先で会った人が良い人だったらまた来たいと思いますよね。さらに普代は海も山もぎゅっと詰まっているので、民泊とか農業体験、普代の日常にお邪魔する、という企画も面白いと思います。

以前、旅行会社に勤めていたので、その経験を生かし、普代の交流人口拡大のお手伝いができればと思っています。

商工費・土木費

「普代浜園地」
整備の自身を

(観光振興)

金子委員

問 普代浜園地整備工事1500万円の自身について何う。

太田建設水産課長

答 海産物直売施設の外構的なもので、擬木柵を整備した駐車場の方向に向かって200坪程擬木柵を延ばす計画。直売所の脇の辺りにイス・ベンチを4基、周辺の芝貼り2000平方メートル、川を渡る部分への仮設の浮桟橋を予定しているものである。

シルバー人材センター
十分な予算であるのか

(地域づくり)

嵯峨委員

問 道路補修役務費のシルバー人材センターへの支出650万円の予算で十分な村道の草刈り、側溝の土砂撤去ができるか何う。

太田建設水産課長

答 予算があればあるほどいい訳だが、今の予算だけで十分活用して対応・活動している状況である。

南浜住宅の建て替え
どこに何棟造るのか

(住宅整備)

大上委員

問 南浜住宅建て替えにつ

総額37億円の事務事業を精査！



いて場所がどこで何棟を造る工事か何う。また、今後こういった事業の際に、もっと議員の声を聞く場をつくれないうか。

太田建設水産課長

答 29年度予算では4棟建てる予定で、場所はみつよし食堂さんの裏の方である。今後、着工する際、基本設計を依頼する時など、場を設けたい。

県の土砂災害指定を
受けた場合の対応は

(防災対策)

中村委員

問 住宅管理費について、県に土砂災害の指定を受けた場合、災害対応は県、村、個人、誰がやるのか。

た、学校予定地や建築関係のことまで研究されているのか何う。

三船教育長

答 どこに建てるかは一切白紙である。研究については学校経営・運営をどうするか、今までは全く違う形態になり、先生についても小中の免許で、片方しかなかったら研修で資格を取れるようなことも含め検討している。

普代簡水・羅賀橋
早急の対応を望む

(生活基盤整備)

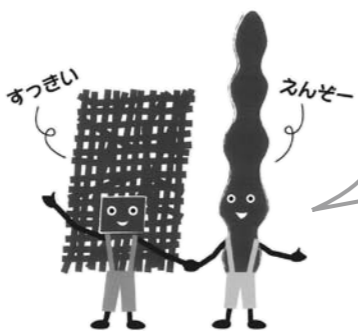
中村委員

問 現在、応急処置になっている普代元村地区の簡水・羅賀橋について、7月ごろに工事発注して年度内完成というように聞いているが、早急になんとかしてほしい。仮に急いだ場合、いつまでにできるのか。

太田建設水産課長

答 県の河川の工事がどうしても必要になり、ある程度の期間を要する。早くてという意味での年度内ということ、これを進めていきたい。

安全・安心・快適な村は
みんなの願い！！



県が指定する土石流危険区域になっている普代元村地区の山林



普代駅舎を拠点に物産などを行う「青の国ふだい」

観光会社「青の国ふだい」 活力ある地域再生を目指す

新たな地域社会の創生に向け、特色ある資源の活用と雇用、経済循環、活力ある地域の再生を目的に、「株式会社青の国ふだい」が4月3日設立された。

普代駅舎を拠点に、物産・旅行・受託の3部門で、普代村こんぶ饅頭の販売、地場産品の受託販売・配送サービス、土産品などの開発、旅行業、観光ガイド、ふるさと納税業務、観光情報発信、切符販売などを行う。事業規模は1700万円を見込む。

坂本博士さん迎え コンサートを開催



平成23年12月に行われた復興支援コンサート

本年度の青少年育成事業では、東京・坂本ミュージックスクールの校長の坂本博士先生と、スクールの講師の皆さんを迎え、コンサートを開く。

坂本先生は46年前、自身が出演する津波を題材にしたミュージカルの取材で、演出家らと一緒に普代を訪れたことがあり、そのご縁で平成22年6月に村でふれあいコンサートを開いた経緯がある。震災後にも村のため作詞作曲した絆3部作を贈ってくれた。開催は6月2日、普代中体育館。

土曜日の夕方に放送を ふだいの出来事を



テレビ放映されている「青の国からふだいTV」

本年度も引き続き「ふだいFAN（ファン）管理運営委託事業」として役場に常駐している「岩手めんこいテレビ」に、ミニ番組（2分30秒）の制作やインターネットを活用した情報発信を委託する。

ミニ番組「青の国ふだい」は毎週土曜日午後5時25分から放送され、村の情報を発信する。また、ふだいFAN独自でインターネット上に村内のイベントや出来事を掲載している。

子ども園の給食費 地域商品券で助成



元気に給食を食べる園児

子育て世帯の負担軽減などを目的に、「はまゆり子ども園」園児の給食費実費負担4万8000円（1人1年分）を、村内の商店で使用できる地域商品券で全額助成する。予算額は355万円。そのほか高校生までの医療費の無料化、育英奨学資金の貸し付けで子育て支援の充実を図る。

担い手育成支援 農林漁業などの



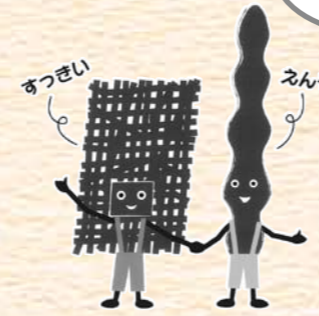
村の基幹産業の秋サケ定置網

農業は、担い手育成支援225万円を継続し、園芸施設の整備補助28万円、ホウレンソウ価格安定対策基金24万円、新規作物チャレンジ支援20万円などを行なうほか、林業は原木シイタケの植菌助成207万円や森林整備事業51万円などを行う。

漁業では、新規漁業者確保支援478万円など担い手確保に取り組み、アワビ・ナマコなど放流拡大1000万円、各漁港の整備を行う。

29年度 議会が注目する

主な事業 ピックアップ

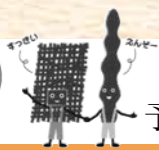


補強工事が行われる予定の普代橋

普代橋の長寿命化と 道路補修・補強工事

村管理の橋梁52橋のうち、50年以上を経過した橋は4橋だが、20年後には39橋が該当する状況。その橋を計画的に修繕することで、長寿命化を図ることができる。29年度は普代橋（漁協付近）を約1億円で補強する。そのほか村道についても、8千万円の予算で補修・補強する。

さらに注目!



予算特別委員会では、村と議会との3日間の議論の末、このほかにも普代村をもっとよくするための事務事業を決めました。29年度予算は37億円。小さな村の大きな夢を議会も後押しします。

太田名部公民館を新築



新築される太田名部公民館

地域住民の暮らしの支援として、太田名部公民館を新築する。面積は50坪、設計業務などを含む事業費は約8900万円。太田名部地区の新たな活動拠点が完成する。

高規格救急車を配備



更新される救急自動車

高規格救急自動車1台を更新する。装備は心電計、酸素吸入器、自動式人口呼吸器、血糖測定器などの応急処置、高度救命資機材などが配備される。価格は4000万円程度。

普代簡水（水管橋）復旧工事



応急復旧された送配水管

昨年8月の台風10号で破損した普代簡水水道水管橋の復旧工事を行う。予算は4000万円。そのほか普代簡水と白井簡水の一部布設替工事（計2400万円）も予定している。

ジオパークの看板設置



現在の観光パンフレット

商工費では、三陸ジオパーク・ジオサイト看板設置232万円、青の国観光パンフレット作成300万円、普代浜園地キラウミPR事業を展開し、観光PR部門を強化する。

可決

社会体育館など指定管理

普代駅舎の改修は減額に

村議会第1回定例会（3月定例会）では、平成29年度予算のほか、平成28年度一般会計と6つの特別会計の補正予算、社会体育館と管理センター、くろさき小規模多機能ホームの指定管理など、21議案が村から提出され、審議の結果、全員賛成で可決しました。



交付金の関係で改修工事（点線内）が延期となった普代駅舎

一般会計補正予算

一般会計補正で
1億53万円増

▽一般会計補正予算（11号）
一般会計では歳入歳出に3億21万6千円を減額し、総額で3億9315万9千円としました。
主な歳出は、地方創生加

速化交付金を活用した普代駅舎改修工事（普代の地域資源を生かした経済システム育成事業）2500万円をそれぞれ減額しています。また、国・県からの補助金などの金額の決定、入札残、事業執行残により関連する事業費などの予算を減額しています。

一方、ふるさと応援基金積立金691万1千円、防災備品購入費100万円、普代福祉会補助金100万

指定管理

社会体育館など3施設を指定

▽普代村立普代社会体育館及び普代村自然休養村管理センターに係る指定管理者の指定



社会福祉協議会が管理する社会体育館

ター両施設の管理について、社会福祉法人普代村社会福祉協議会（宇部由明会長）を指定管理者とすることを議決しました。

期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間です。

▽くろさき小規模多機能ホームに係る指定管理者の指定

くろさき小規模多機能ホームの管理について、社会福祉法人普代福祉会（藤島拓明理事長）を指定管理者にすることを議決しました。

※指定管理制度とは：村（地方公共団体）が、公の施設の設置目的を効果的に達成する必要があると認めるとき、村が指定するものに管理を行わせることができる制度。

特別会計補正予算

利用者増により酒類など購入増

▽休養施設事業特別会計補正予算（4号）

補正額3175万9千円を追加し、歳入歳出の予算総額をそれぞれ1億5290万円にしました。

酒類・飲料材料、土産品等販売品購入費、電気料324万円を増額したほか、展望大浴場のポイラー修繕工事、受水槽取替工事604万8千円をそれぞれ増額しています。

（質疑は13ページです）

質疑

新会社設立への進捗状況を問う

中上議員

問 ①設立準備会で検討するとされていた設立方法は、どのような経緯で発起設立となったのか。
②損失補償とか債務保証の規定は、どの時点で決まるのか、議会には事後報告になるのか。
③最終的に、村の出資割合はどれくらいになるのか。

答 ①スケジュール的な問題と、産業団体の皆様構成

の中で（募集設立ではなく）発起設立ということで決定した。
②損失などの議会への報告は、決算などで地方自治法に定められた報告義務があるもので、相談しながら報告させてもらう。

損失補償、債務保証の割り当ては、29年度会社が入り当り、取締役会というようなどころでの決定事項になるかと思っている。
③当初は村が100%出資だが、各団体の皆様から具体的に検討をいただいて



普代駅舎内にある新会社「株式会社青の国ふだい」の事務室（4月18日）

いる。また、岩手銀行さんからの出資は、前向きに取り組むというお話をいただいている。

普代浜の直売所雇用と売物

金子議員

問 普代浜の海産物直売所に入る人（管理人など）はどういう方を募集しているのか。また、どういう産物を入れるのか。

答 現在、具体的な募集は

次のページから

「一般質問」

村の課題を熱く議論!

3月定例会の一般質問には、金子泰男議員、中上一登議員、野場義時議員の3人が登壇し、村の課題などについて村当局の考えを問いました。

一般質問とは、議員が執行機関である村長などに対し、事務事業の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。村議会では「一問一答方式」で行っていますので、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。

質問者と内容



【1番目】
かねこ やすお
金子 泰男 議員
14p

- ①閉校した各小学校、閉館している「くろさき荘別館」「まついそ施設」について
- ②老朽化した水道管の整備計画を
- ③いじめの現状と対策は



【2番目】
なかがみ かずと
中上 一登 議員
15p

- ①村の観光イメージ全村民共有を
- ②保健行政の充実対策は



【3番目】
のば よしとき
野場 義時 議員
16p

- ①村の6次産業化の推進を
- ②各地区公民館・集会所の利活用及び防犯灯改修は

◆3月定例会で決まった議案◆

議案番号等	議 案	審議結果
議案第1号	平成29年度普代村一般会計予算 歳入歳出予算を27億4700万円にしました。詳しくは2～9ページで説明しています。	可決(全員賛成)
議案第2号	平成29年度普代村国民健康保険特別会計予算 歳入歳出予算を4億6900万円にしました。国民健康保険、後期高齢者医療、老人保健事業など。前年度比1200万円の減。	
議案第3号	平成29年度普代村国民健康保険診療施設特別会計予算 歳入歳出予算を2億2060万円にしました。医科・歯科診療所の運営経費など。前年度比860万円の増。	
議案第4号	平成29年度普代村簡易水道特別会計予算 歳入歳出予算を1億3700万円にしました。普代・白井簡水配水管工事に2400万円、台風10号災害で被害を受けた普代簡水の水管橋災害復旧工事4000万円など。前年度比6620万円の増。	
議案第5号	平成29年度普代村休養施設事業特別会計予算 歳入歳出予算を1億1680万円にしました。国民宿舎くろさき荘と緑の村の営業管理費など。前年度比300万円の減。	
議案第6号	平成29年度普代村漁業集落排水事業特別会計予算 歳入歳出予算を2390万円にしました。処理施設維持管理費など。前年度比40万円の増。	可決(全員賛成)
議案第7号	平成29年度普代村後期高齢者医療事業特別会計予算 歳入歳出予算を2860万円にしました。後期高齢者医療広域連合への保険料等納付金など。前年度比90万円の増。	
議案第8号	平成28年度普代村一般会計補正予算(第11号) 補正額3621万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ36億9315万9千円にしました。詳しくは10～11ページで説明しています。	
議案第9号	平成28年度普代村国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 補正額1013万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億295万8千円にしました。歳出では、一般被保険者療養給付費526万5千円、一般被保険者高額療養費440万円などを増額。一方で保険財政共同安定化事業拠出金153万4千円、高額医療費拠出金15万4千円をそれぞれ減額しました。	
議案第10号	平成28年度普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第4号) 補正額3005万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億5475万8千円にしました。歳出では、医科で医薬品購入費として1400万円などを増額、一方、歯科では、医療用機械器具費として46万4千円を減額しました。	
議案第11号	平成28年度普代村簡易水道特別会計補正予算(第6号) 補正額537万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9552万5千円にしました。歳出では、施設改良工事請負費98万4千円などを減額しました。	可決(全員賛成)
議案第12号	平成28年度普代村休養施設事業特別会計補正予算(第4号) 補正額3175万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5290万円にしました。歳出では、展望台大浴場ボイラー修繕に伴い、工事費として604万8千円を増額しました。	
議案第13号	平成28年度普代村漁業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 補正額10万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2417万1千円にしました。歳出では、汚泥処理手数料16万円の減額が主なものです。	
議案第14号	平成28年度普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) 補正額77万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2862万6千円にしました。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金として77万1千円を増額しました。	
議案第15号	普代村看護・介護職養成奨学資金貸付条例の制定について 看護・介護職を確保するため、看護施設等で看護・介護職の業務に従事しようとする者に対して、看護・介護職養成奨学資金の貸付けに関し必要な事項を定めるため条例を制定しました。	
議案第16号	普代村農業委員会に関する条例の制定について 農業協同組合法等の一部を改正する法律の施行による農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、普代村の農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるとともに、所要の整備をしました。	可決(全員賛成)
議案第17号	ふるさと水と土保全基金条例を廃止する条例の制定について 目標達成により、基金ゼロとなったことから本条例を廃止しました。	
議案第18号	普代村村税条例の一部を改正する条例について 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための、地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律等の施行に伴い、普代村村税条例の一部について所要の改正をしました。	
議案第19号	普代村立普代社会体育館及び普代村自然休養村管理センターに係る指定管理者の指定について 普代村立普代社会体育館及び普代村自然休養村管理センターの指定管理者を社会福祉法人普代村社会福祉協議会に指定しました。期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。	
議案第20号	くろさき小規模多機能ホームの指定管理者の指定について くろさき小規模多機能ホームの指定管理者を社会福祉法人普代福祉会に指定しました。期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。	
議案第21号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について 辺地に係る公共的施設の総合整備で、村営バス1台を購入する計画を350万円から450万円に変更しました。	可決(全員賛成)

質 疑

【特別会計補正予算】

「緑の村」増額内容を

正路議員

問 「緑の村」歳入の補正額16万円の内容説明を。

道下政策推進室長

答 現在、貸し出している施設(うねとり山荘)の電気料、水道料の分である。

ボイラー修繕工事 仮工事か本工事が

嵯峨議員

問 くろさき荘の大浴場ボイラー修繕工事

イラー修繕工事226万8000円とあるが、これは仮工事かそれとも本工事での金額で終わるのか伺う。

道下政策推進室長

答 ボイラーが故障し、1日営業を休止して仮復旧をして、その後この予算で本工事したものである。

歳出増がない理由は

野場議員

問 くろさき荘の収入で営業収入が宿泊料の301万3000円と食堂収入の100万円が増になっているが、歳出の需用費で増がないのはどうしてか。

道下政策推進室長

条例改正

看護師など養成に 奨学金制度を制定

▽村看護・介護職養成奨学

金貸付条例の制定

答 当初28年度に8150人程度の計画であったが2月現在8500人で目標の数値を上回っている。3月に300人程度見込むと、8800～8900人程度となるので宿泊料を増額計上した。賄い材料費は、原価率の調整とコストの抑制に努めているものである。

金貸付条例の制定

看護・介護職の人材確保のための奨学資金の貸し付けについて、新たに条例を制定しました。対象は、看護・介護職養成施設に入学することを認められた人または在学中の人で、資格取得後3年以内に村に住居登録をし、村内外でその職に就くことが条件になります。

貸付金額は、月額6万円以内と入学金・授業料も対象になります。貸付金は村内で5年間、または村外で10年間看護・介護職に従事すると返還が免除になります。この条例は4月1日からの施行です。

質 疑

奨学金貸付に保育士を

大上議員

問 奨学金貸付条例は、看護師、介護士に限定されているが、将来的には保育士をいれるべきと思うが村長の考えを。

村長

答 人財の確保、定住といったことから、特にも職柄、若年層の女性を多くといった思いで看護師、介護士にした。保育士については、そう遠くなく検討を進めたい。



中上一登

村の観光資源化 村民一丸で

イメージ共有を前向きに進める 梶屋村長

質問 さうであればなおここにどう植えていくとか、村民からの意見を募ってもいいのではないか。

答弁 梶屋村長 交付税計画で進めている。道下政策推進室長 普及パイパス開通後の見どころをつくるために駅前周辺、役

質問 静岡県に河津桜の観光資源として進めていくには、もつと村民の協力を得て、イメージの共有が必要と思うが、考えを聞く。

答弁 梶屋村長 本村の「華のまちプロジェクト」で、河津桜の植樹に取り組んでいる。地域経済の厳しさを抑制する手段として観光・交流拡大のための資源づくりとなる。村民と共有化、協働の取り組みが不足していることはおわびする。

質問 3年間の計画で花いっぱいへと

答弁 梶屋村長 エヌエルフォーティさんちプロジェクトが桜だけでなく村全体の花



村の「華のまちプロジェクト」で参考している静岡県河津町の「河津桜」

質問 確保が難しい状況、全力で取り組み

答弁 梶屋村長 保健師2名体制から、1名の保健師が欠員となり、昨年10月採用募集から応募がない状態である。現在1名体制で負担を強いてしまっている。欠員が補充されれば、保健師1人当たりで町村平均の1750人を下回る。改めて現

質問 3年間の計画の中で、植樹場所は決まっているという訳だが、河津桜は住民の力で増やしたと聞く。住民の協力や意見を聞くことが地域一丸にもなるのではないか。

答弁 梶屋村長 華のまちプロジェクトが桜だけでなく村全体の花

質問 村民の健康維持影響はないのか

答弁 梶屋村長 保健師の募集をしても応募がなく、現在1人体制となっている。本村規模であれば3人体制が望ましいとも聞く。円滑な村民保健推進に影響はないのか伺う。

質問 久慈広域では、岩手医大を中心に自殺対策に取り組み、その中で保健師も重要な責務を担っている。自殺の原因は生活に密着したもので、こういった会議に出ることが住民の健康情報ともなるが、1人では会議にも厳しい。

答弁 梶屋村長 以前から保健師定着が不安定であり、保健師の働きは上司や首長の理解によることも聞くがどう考えるか。

質問 梶屋村長 保健師が活動しやすいようにと考えている。2名体制に全力で取り組み、現在臨時で来てもらっている人と2・5人となっている。

答弁 梶屋村長 確保が難しい状況で、さらに一歩踏み込んでいかなければならないと悩んでいる。



金子泰男

閉校した校舎等の 今後の活用策は

調査・検討をし方向性打ち出す 梶屋村長

質問 閉校した黒崎小・鳥茂渡小、閉館している「くろさき荘」別館、「まついそ」施設の老朽が進んでいる。この先どのように進めるのか。

答弁 梶屋村長 旧黒崎小の特別教室棟は福祉施設として活用、教室棟は耐震診断と補強工事が必要、適正な時期の解体を検討していくべきと考える。屋内運動場は、新耐震基準後の建物で再活用を模索する方向で考えている。旧鳥茂渡小の教室棟は倉庫として、屋内運動場は軽スポーツの場として利用している。学校敷地は、民間会社との大規模太陽光発電事業に利用する。くろさき荘別館の再活用への投資は無理と判断される。解体費7千万円以上と推測され捻出に苦慮する。時期を採って対処する。



空き校舎となっている旧黒崎小学校

質問 旧まついそは活用を模索し、叶わないなら1200万円程度かかるが、解体に向け議会と協議する方向で取り組む。

答弁 梶屋村長 エヌエルフォーティさんに借りていただいているが、雇用の問題もあるとのこと。村で手助け

質問 水道管の老朽化対策は

答弁 梶屋村長 8つの簡易水道施設、1つの飲料水供給施設の配水管の総延長は4万1521m、40年以上経過が46.1%で1万9133mとなる。平成34年度を判断基準とし、水道施設の構造物、管路など調査し、補修か更新かを判断。更新時には耐震性も確保する。

質問 水道管が通っていないところはどう扱うか、本管を通す計画はないか。

質問 三船教育長 本村小、中学校では重大ないじめの事案は発生していない。積極的認知としては、小学校26件、中学校4件の事案が報告されているが、早期の組織的対応・指導で解消している。

答弁 梶屋村長 また、児童・生徒に対し年3回のアンケート調査、いじめ問題に対する村内研修や情報交換など、実態の把握に努め、早期解消の手立てを講じている。

質問 旧まついそは活用を模索し、叶わないなら1200万円程度かかるが、解体に向け議会と協議する方向で取り組む。

答弁 梶屋村長 旧黒崎小は、株式会社エヌエルフォーティさんに借りていただいているが、雇用の問題もあるとのこと。村で手助け

質問 調査し補修・更新、協議・検討を進める

答弁 梶屋村長 8つの簡易水道施設、1つの飲料水供給施設の配水管の総延長は4万1521m、40年以上経過が46.1%で1万9133mとなる。平成34年度を判断基準とし、水道施設の構造物、管路など調査し、補修か更新かを判断。更新時には耐震性も確保する。

質問 水道管の老朽化対策は

答弁 梶屋村長 8つの簡易水道施設、1つの飲料水供給施設の配水管の総延長は4万1521m、40年以上経過が46.1%で1万9133mとなる。平成34年度を判断基準とし、水道施設の構造物、管路など調査し、補修か更新かを判断。更新時には耐震性も確保する。

質問 いじめの実態と対策は

答弁 梶屋村長 本村小、中学校では重大ないじめの事案は発生していない。積極的認知としては、小学校26件、中学校4件の事案が報告されているが、早期の組織的対応・指導で解消している。



野場義時

6次産業化の推進 村長の考えを

高付加価値化、経営体制を支援
梶屋村長

質問 村長は6次産業化の推進を掲げているが、どの業種を考えているのか。人、物、金の観点から考えを伺う。

青の国を活用し
地域力の向上へ

答弁 梶屋村長 平成32年度までの過疎地域促進計画に、6次産業化による地場産品の高付加価値化、経営体制強化への支援をしていく。

落合地区の産直、普代駅アンテナショップ「あいで」「くろさき荘」「ふだいのコンプ」で村おこしプロジェクトなどで商品化されたものの販売が拡大している。村にとつての6次産業化とは、付加価値が付けられ村内に金が落ち、村民の所得アップにつながるからだ。

そのためには専門家も入れ、人材も育て、補助などを活用し、1次産業だけでなく、2次、3次産業者も裾野広く取り組む。これら



村おこしプロジェクトで開発されたコンプが入った商品

用した場合、その状況に応じて地域に活動支援の助成制度を作る考えはないか。

支援関連の事業
広域と村で助成

答弁 梶屋村長 高齢者の交流の場づくりは重要だ。その活動に公民館などを活用し、心身の健康維持、介護予防、認知症防止につながる活動、あり

の取り組みの受け皿、後押しになる「株式会社青の国ふだい」を活用し、人口減少を抑え、生産力の向上、雇用定住の拡大、普代村の地域力、村民力の維持、アツプにつなげていく。

公民館活動に助成を

質問 村は高齢化率が30%を越え、独居世帯や高齢者世帯が多く、交流の機会も少なく、居場所も少ない。そこで公民館や集会所を交流の場として使

がたいと思っている。その諸活動に「ふるさと元気応援補助」ができるので活用をさらに進める。また、各地区で行われている体操や運動などを含めたサロン活動などについて、29年度から地域支援関連の総合事業の1つとして、老人クラブやボランティア組織など住民主体で行なうよう取り組む。

答弁 梶屋村長 防犯灯などのLED化は国、県の助成制度などを活用しながら計画的に進める。LED化は50基行われており、電気使用量は70%減量になっている。改修費用は1基約5万3000円。商店街の街路灯LED化も環境省の補助がある。

防犯灯のLED化を

質問 省エネルギー対策として防犯灯などの電灯改修に取り組む考えは。またある地区では防犯灯の電気料、修繕費が地区会費の40%を占めているが助成する考えはないか。

助成制度を活用し
年次計画を進める

答弁 梶屋村長 防犯灯などのLED化は

現在、公共施設などで村負担分が126基、地区負担分が319基の防犯灯などがある。29年度中に再確認を行い、優位な制度の活用など検討し、年次計画を策定して進める。

可決

こんなことが、決まりました

第2回臨時議会

村議会第2回臨時議会は、3月30日開会、同日開会しました。審議した案件は、水産業共同利用施設の設置条例、「株式会社青の国」に指定管理する村観光センターの条例の一部改正とその指定管理、白井漁港漁村再生交付金(東防波堤)工事の請負契約の締結、28年度一般会計補正予算など7件を全員賛成で原案可決しました。主な内容は次のとおりです。

水産業共同施設の 利用に関する規定

▽村水産業共同利用施設設置及び管理運営に関する条例の制定
東日本大震災の復興交付金を受け、整備を進めてき



普代浜園地南側に完成した海産物直売所

た施設が全て完成したことから施設の設置および管理運営に必要な事を定めるものです。

対象は6施設で、黒崎地区・白井地区・黒崎(ネダリ浜)地区・普代地区・太田名部地区の共同利用施設と普代浜南側に建った海産物直売所。管理者は村ですが、それぞれの漁師組合などが活用します。

青の国ふだいを 指定管理者に

▽村観光センターに係る指定管理者の指定
同臨時会の中の「普代村観光センター設置及び管理に関する条例の一部改正」で、施設の管理と業務などを村が指定する管理者が行えることが可決されたことから、普代駅舎内にある普代村観光センターの管理・業務などを「株式会社青の国ふだい」(梶屋伸夫社長)が指定管理者となることが決まりました。

指定の期間は、平成29年4月3日から平成30年3月31日までです。

**事業実績残など
1千万円を減額**
▽28年度一般会計補正予算(12号)
補正額1035万2千円を減額し、総額で36億8280万7千円としました。主な減額は、簡易水道特別会計への操出金627万7千円、老人福祉施設入所措置委託料322万2千円、そのほか、事業実績による減額によるものです。

**白井漁港の契約
6500万円で**
▽白井漁港漁村再生交付金(東防波堤)工事の請負契約の締結
白井漁港東防波堤の強化工事(延長49・21メートル)と、消波ブロックの据え付けなど請負工事契約について、全員賛成で可決されました。請負者は株式会社小山組、契約金額は6512万4千円。4社の指名入札で決まりました。工期は平成29年10月2日までです。

第2回臨時会の議案審議結果(3月30日)

議案番号等	議案	審議結果
議案第1号	平成28年度普代村一般会計補正予算(第12号)	可決(全員賛成)
議案第2号	平成28年度普代村簡易水道特別会計補正予算(第7号)	
議案第3号	平成28年度普代村休養施設事業特別会計補正予算(第5号)	
議案第4号	普代村水産業共同利用施設設置及び管理運営に関する条例の制定について	可決(全員賛成)
議案第5号	普代村観光センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第6号	白井漁港漁村再生交付金(東防波堤)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決(全員賛成)
議案第7号	普代村観光センターに係る指定管理者の指定について	可決(全員賛成)

事務局
日誌から

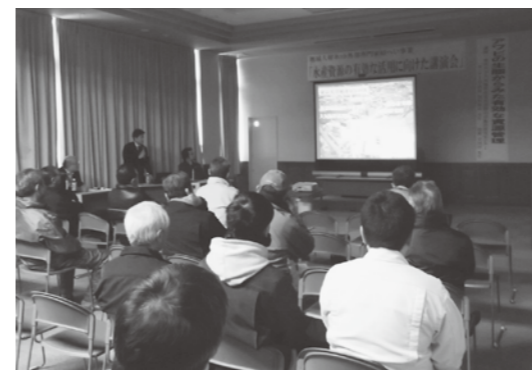
議会の動き

2月1日～4月16日

月日	場所	事項	出席者
2月 5日	鳥居地区	鳥居自治会初午祝い及び鳥居地域活動拠点施設落成祝い	議長
	くろさき荘	自営定置網の切揚祝い	議長
7日	久慈市	久慈広域連合議会議員全員協議会	大上・野場議員
9日	役場	産業経済常任委員会	各委員
	役場	議会全員協議会	各議員
	岩泉町	東部町村議会議長会議員研修会及び議員交流会	各議員
13日	くろさき荘	普代村しいたけ推進協議会通常総会・懇親会	議長
14日	久慈市	久慈広域連合議会 2月定例会	大上・野場議員
15～17日	静岡県	議員県外行政視察研修	各議員
17日	盛岡市	町村議会議長会第68回定期総会	議長
	盛岡市	東部町村議会議長会臨時総会	正・副議長
23日	久慈市	第20回久慈地方森林組合通常総代会	議長
27日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
28日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
3月 2日	役場	議会運営委員会	各委員
3日	中央区・太田名部	津波記念日慰霊祭	正・副議長
7～10日	役場	村議会第1回定例会	各議員
11日	復興ふれあい広場	震災追悼イベント	各議員
12日	普代中	普代中学校卒業式	各議員
14日	野田村	野田・普代岩友会懇親会	議長
16日	二戸市	久慈・二戸地域市町村長・議会議長情報交換会	議長
17日	普代小	普代小学校卒業式	各議員
22日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
23日	はまゆり子ども園	はまゆり子ども園卒園式	各議員
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会3月定例会	熊谷議員
24日	役場	議会広報常任委員会	各委員
30日	役場	議会運営委員会	各委員
	役場	村議会第2回臨時会	各議員
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
4月 6日	はまゆり子ども園	はまゆり子ども園入園式	各議員
	普代中	普代中学校入学式	各議員
7日	普代小	普代小学校入学式	各議員
8日	くろさき荘	村消防団歓送迎会	議長
10日	役場	財務行政懇話会	各議員
16日	宮古市	山本有二農林水産大臣を囲む懇談会	議長
	宮古市	鈴木俊一夫妻を囲む早春のつどい	正・副議長

お知らせ

本号または過去の「ふだい議会だより」は、村ホームページ（<http://www.vill.fudai.iwate.jp/>）から見る事ができます。トップページの行政情報をクリックし、次のページの右下にある「議会だより」をクリックしてください。ぜひ、この機会にウェブサイトもご覧ください。



3月13日、役場で地域人材ネット外部専門家招へい事業「アワビの生態から見た有効な資源管理」と題して、東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターの河村知彦教授らが講演しました。



4月7日、普代小学校（^{つよし} 畠山 剛 校長、児童106人）の入学式が同校体育館で行われました。新入生17人（男子7人、女子10人）は、名前を呼ばれると元気に返事をしていました。



3月3日、中央区と太田名部の2地区で津波記念日慰霊祭が行われ、中村裕議長、熊谷有耕副議長が出席。明治29年6月15日と昭和8年3月3日の三陸大津波で犠牲になった439人の冥福を祈りました。



2月9日、岩泉町龍泉洞温泉ホテルで東部町村議長の研修会が行われました。下閉伊地区の5町村の議員、事務局職員ら52人が参加。タブレット端末での本会議などの運用について研修しました。

お知らせ

議会にお出でください。



3月定例会を傍聴する皆さん

傍聴者の感想！

傍聴者が多いと、緊張感があるなあと感じました。資料があればより質疑が理解できると思います。村のことに無関心では良くないと思います。議会報を見ると、生で聞くのとは全く違うので、ぜひ、たくさんの人に見てほしいと思います。

村議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議会議場で開かれます。議員は議場でどんな発言をしているのか、また、どんな村づくりを考えているのか、今後の村の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

また、役場1階にある村民ホールテレビでも議会中継を見ることができますので、お気軽にどうぞ。

3月定例会の議場での傍聴者は21人でした。

次回は6月中旬を予定
お待ちしております！！

問＝議会事務局（☎35-2118）



河津川沿いに広がる桜並木(研修資料から)



相馬宏行河津町長、町議の皆さんと満開の夜桜をバックに記念撮影



1ヵ月で約100万人の観光客が訪れる「河津桜まつり」(2月16日)



行政視察の報告「河津桜の町づくり」

川沿いで偶然見つけた、1本の苗木から始まった「桜のまちづくり」。町民の想いを重ねながら、長い年月をかけ、育んできました。やがて、伊豆半島の小さな町は、早咲桜として有名な「河津桜」の地となり、多くの人々の心に一足早い春を届ける町となりました。「桜」に託した小さな町の歴史をひもとき、普代村の未来に生かします。

静岡県河津町に学ぶ

村議会は2月16日、早咲きで有名な「河津桜」によるまちづくりを進める静岡県河津町を視察しました。村では地方創生事業で昨年11月に役場などに河津桜を植樹し、「華のまち構想」を掲げています。まつり期間中の約1ヵ月で、人口約7500人の町が100万人の観光客で賑わう河津町。その町づくりの経緯などを研修しましたので、報告します。



説明する木村産業振興課長



偶然見つけた桜の苗木

視察時は27回目となる「河津桜まつり」。天候にも恵まれ絶好の花見日和でした。バスの窓越しに見える河津川沿いに広がった桜は、本当に見事と言わしかりませんでした。河津町役場に着くと、同町

議会の宮崎啓次議長、渡辺弘副議長、事務局の皆さんが迎えられました。会議室に移動し、産業振興課の木村吉弘課長から「河津桜によるまちづくり」について説明を受けました。河津桜の歴史は昭和30年ごろにさかのぼるといいます。河津川沿いの雑地に生えてい

た、芽吹いたばかりの葉が桜に似た苗木を見つけたことがきっかけ。その発見した方の自宅前の桜が河津桜の原木となっています。その苗は「カンヒザクラ」と「早咲きオオシマザクラ」の自然交配種と考えられ、開花は約10年後の昭和41年から始まり、同49年には町内で植

桜をなんとか町づくりに

裁が行われたといえます。現在は河津川沿いに約850本、町内全域に8000本が植栽されているということでした。河津桜は開花期が早く花も大きく、1月中旬からつぼみがほころび始め、2月上旬から1ヵ月間と開花期が長いのが特徴。樹皮はつやがあり、地上から50センチぐらいで幹が分かれ、枝は横に広がるので手に取って見たりと、身近な距離で鑑賞できるのが人気です。

「その桜を町づくりになんとか生かせないか」という機運が広がり、昭和50年ごろ、観光協会が中心となり河津川河口付近や伊豆急行河津駅付近に200本の植栽を行いました。十数年の年月をかけ、桜並木が成長し満開の桜を咲かせようになった平成3年2月、第1回「河津桜まつり」が開催されました。

その後平成8年の第6回は10万人を数え、誘客に官民挙げて取り組みました。この時期から町内事業者や農業者がまつり会場で地場産品の販売を始めるなど、経済波及効果も現れてきました。県内のテレビ各社を訪問し働きかけ、旅番組のほか、食や温泉に関する番組でも取り上げられ知名度が飛躍的に向上。桜の生い立ちや、地域の思いなどが放映され、大きな反響を得たことから、平成11年、ついに来訪者が100万人を超えるイベントに成長しました。

どの思いから、桜並木のライトアップを行いました。平成12年から旅館組合青年部が「夜桜まつり」を実施。甘酒を無料サービスしました。青年部の行動は多くの町民から共感が得られ、商工会女性部や青年部をはじめ近隣の住民も加わり、充実した運営体制が整えられることとなりました。

三陸に春告げる事業へ

夜桜見物だけでも1万人を超えるようになり、町内だけでなく東伊豆町や下田市などの宿泊客増にもつながり大きな波及効果をもたらしました。さらに、個人宅の庭でもライトアップが行われ、町内の多くの場所で「夜桜」が見られるようになりました。短期間に100万人を超えるイベントに成長した河津桜まつり。駐車場やトイレ問題、

村は地方創生事業として、「華のまち構想」を進め、その第1弾として昨年11月、役場庁舎前と庁舎南側の駐車場に河津桜25本を植栽しました。今後は普代浜、普代ダムなどエリアを広げる構想です。冬が長い三陸沿岸の地で、早咲き桜として沿岸の人々の心に春を告げることでできる事業となることを期待して、報告を終わります。

河津町の概要

河津町は、伊豆半島の南端に近い東海岸沿いに位置し、人口7543人、議員数は11人。面積は100.69平方キロメートル。総面積の83%を山林・原野が占める。

天城山から注ぐ河津川は町の中央を流れる。流域には平野部が広がり、海に向かって開けた地形となっている。温泉も豊富に湧き出していて、海岸部も白砂青松の今井浜海岸や河津浜海岸など海岸美も誇る。山と海の織り成す素晴らしい自然環境を観光資源として活用している。

河津桜は50年4月に町の木に決定、平成17年2月、町指定天然記念物に指定された。

言語・文章部門で

「奨励賞」受賞

初の全国入賞果たす

第31回（平成28年度）町村議会広報全国コンクールで、「ふだい議会だより」第135号が、奨励賞に選ばれました。

昭和60年にコンクールが始まって以来、初の全国入賞となります。同コンクールには、全国927



奨励賞を喜ぶ議会広報常任委員会（後列左から中上一登委員、嵯峨典行委員、正路正敏副委員長、前列森田幸一委員長）

町村議会のうち、291紙が応募。入賞は入選1位の最優秀賞、2〜4位の優秀賞、5〜10位の優良賞のほか、奨励賞として「企画・構成」「編集・デザイン」「言語・文章」の各部門から8紙、表紙写真賞に3紙が選ばれています。その中でふだい議会だよりは言語・文章部門で奨励賞に選ばれました。

編集水準高い紙面

審査員の講評では、「インパクトのあるレイアウトで読者を引きつける紙面。レイアウト完成度が高く、大きな記事でもしっかりと見出しや写真など手抜きがなく、編集水準も高い」との好評価を受けました。同コンクールは、住民と議会との意思疎通



奨励賞を受賞した135号

を図り、相互信頼を培うため、重要な役割を果たしている町村議会の広報紙の編集技術の向上と普及発展を目的に、全国町村議会議長会が主催しています。

親しまれる広報紙を目指します！

ふだい議会だよりは、読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指すとともに、今後とも村民の皆様に関心される、そして議会の様子、議事が伝わり情報共有され、一緒に普代村の未来を考えることのできる広報紙を目指します。

あしがき

▼このたびの受賞は、議事を起こし企画案を出す議会事務局と、原稿を作成しタイトル、記事内容を確認する私たち広報委員との合同での議会広報づくりが評価されたものとうれしく思っております。これからも発行を心待ちにいただければ、審査講評を基により一層議会だよりづくりに努力したいと思えます。（森田幸一）

▼新年度予算も議決となり、新たなスタートです。普代村の観光に大きな貢献をすることとなる第三セクター新会社も同時にスタートとなります。ばたばたとスタートした感がありますが、いかに村民と共に育て上げていけるのか、官民共同の「協同」が試される一年となります。皆さんで応援いたしましょう。（中上一登）

議会広報常任委員会

- 委員長 森田 幸一
- 副委員長 正路 正敏
- 委員 中上 一登
- 委員 嵯峨 典行

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

